



## DATA

■お問い合わせ先  
JAあきた湖東  
TEL.0185-855-1516  
http://www.ja-akita-kotoh.or.jp

## 寸劇の配役

老人の見た目だけをまねるのではなく、考え方や思いを学び取る力がつきました

**なす吉役**  
奈良恵美子さん

訪問介護を実際に行っているのだから認知症の方の生の声を生かしています

**なす子(嫁)役**  
越後幸美さん

チームワークでより楽しく伝わればと思っています

**ヘルパー役**  
二田仲子さん

認知症も老老介護も周りの人を巻き込んで楽しめたらと思います

**ケアマナ役**  
高橋昭子さん

物語の最後は、なす吉が嫁のなす子に「遺産を相続する」と意思を記した遺言書が見つかる。

# JAあきた湖東 福祉事業推進のためのオリジナル寸劇

福祉事業をより理解してもらうために、JA職員が寸劇で説明していると聞きました。とても好評みたいなのでどんな寸劇か教えてください。



**ナビゲーター**  
JAあきた湖東  
経済部 生活課 調査役  
二田 仲子さん



寸劇はどんな内容ですか。

寸劇のテーマは主に「老老介護」。96歳のなす吉を75歳の嫁(なす子)が介護している設定です。また、ヘルパー役とケアマナ役もいます。演技するのはこの4人です。劇で何を伝えるか目的を皆で話し合っています。例えば「認定の申請をするには？」「在宅介護の突発的な事故、嚥下障害の対処の仕方」など、わかりやすく知っていたらいい工夫するというような具合です。そのためにどんなストーリーを劇中に持つて来るかを決めたらさず本番です。台本は特になくほぼアドリブ。使用する小道具はすべて手づくりです。

見栄っ張りな頑固ななす吉です。会場の方々にはお菓子を配ったりするので、世話をしくれている嫁にはとてもケチだった。なす吉の性格に振り回される嫁、ヘルパー、ケアマナの反応が、共感を得て面白い演出になっているようです。

嫁がケアマナさんに「置に座れば立つの難儀だから、立ったまま話してこ聞くと」言え、話の流れで「認定を受けるとレンタル歩行器を一ヶ月借りれば〇〇円」という台詞が情報となって入ってきます。車イスが一ヶ月500円、ポータブルトイレが割引購入できる、1時間〇〇円でヘルパーさんに来てもらえる等、劇で初めて知る方も多いですね。見た人が「そんなことをヘルパーさんに頼んでいいの?」「そんなことまで相談していいの?」という気持ちになり、介護保険事業を身近に感じる瞬間のようです。

●心の距離が縮まるような劇ですね。何でも楽しく笑っていることは大切な事だと思います!

寸劇を始めた平成20年9月は介護プランの件数が33件でしたが、今は50件くらいになりました。「どんな事でもJAに電話で相談できる」と言っていただけのこと。一番嬉しいです。考え方によっては重いテーマですが、笑いの力を借りて、皆でクリアしていきたいと思っています。

PRは成功でしたか。

1 ナス吉はお金に執着するおじいさんで言語障害。台詞は無く、すべて表情や行動で表現する。その頑固な態度に嫁もケアマナもヘルパーも、振り回されながら介護していくその様が面白い。2 会場は笑いで包まれ、観客全員が笑顔に。3 寸劇の前に、生活課の7つの事業をPRする。4 役になりきるメイクは自分で行う。「もう慣れましたよ」となす吉役の奈良さん。5 電話番号を覚えてもらって気軽にかけてもらうため、番号が劇中によく登場する。6 年金友の会、女性部大会、ミニデイサービスなどで演じ大好評だった。

